

令和元年度 富士川町子ども・子育て会議録

- 1 会議名称 富士川町子ども・子育て会議
- 2 会議日時 令和元年11月29日（金）午後7時30分から
- 3 開催場所 富士川町役場1階会議室
- 4 出席者 委員 15名
事務局 7名
- 5 傍聴人数 0人
- 6 議題 第2次子ども・子育て支援事業計画（素案）について
- 7 会議内容
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 議事
会長が議長になり、議事進行を行う。
 - (4) その他
- 8 発言の内容
 - (1) 第2次子ども・子育て支援事業計画（素案）について
 - ① 事務局（説明）

「第2次子ども・子育て支援事業計画（素案）について」国の法律、富士川町の条例、アンケート調査等を基に説明
 - 第1章 計画策定にあたって
 - 【1. 計画策定の背景】
 - ・意見、質問なし
 - 【2. 計画の目的】
 - ・意見、質問なし
 - 【3. 計画の位置づけ】
 - ・意見、質問なし
 - 【4. 計画の期間】
 - ・意見、質問なし
 - 第2章 町の概要
 - 【1. 人口の推移】
 - ・意見、質問なし
 - 【2. 保育所・幼稚園の状況】
 - ・意見、質問なし

【3. 小学校・放課後健全育成】

・意見、質問なし

【4. 母子保健等】

・意見、質問なし

【5. アンケート結果の概要】

委員（質問）

・地域子育て支援拠点事業はどこで行っていますか。

事務局（児童館長）

・地域子育て支援拠点事業は児童センターで行っています。0歳～3歳くらいまで（保育所に入るまで）の子どもがいる親と子どもを支援する事業です。

委員（意見）

・国においても未満児は7割～8割が家庭でみていることが多く、子育てが孤立化しやすくなっています。だからこそ、支援が大切になってくる中で、8割が利用していないというアンケート結果から、地域子育て支援拠点事業の周知が足りていないのではないのでしょうか。

また、地域子育て支援拠点事業について、第2次富士川町子ども・子育て支援事業計画に、より具体的に掲載した方がよいのではないのでしょうか。

事務局（子育て支援課長）

・8割の方が利用していないと回答したことには2つの理由が考えられます。1つ目は、アンケート調査を昨年度に実施したことです。昨年度も利用者がいましたが、今年の4月から児童センターが新しくなり、昨年度よりもかなり利用者が増えている現状です。

2つ目は、地域子育て支援拠点事業が、どの事業を示しているのかを知らない方が多いことです。児童センターで行われている子育て広場と説明をするとわかる方もいらっしゃるのではないかと思います。第2次富士川町子ども・子育て支援事業計画にも、地域子育て支援拠点事業という言葉ではありませんが、子育て広場や子育て世帯包括支援センターという書き方で掲載しているところです。

○第3章 計画方針

【1. 基本的な考え方】

・意見、質問なし

【2. 基本方針】

・意見、質問なし

【3. 施策体系】

・意見、質問なし

○第4章 基本計画

【1. すべての子育て家庭を支援する】

- ・意見、質問なし

【2. 仕事と家庭生活の両立を支援する】

委員（質問）

- ・幼児向け英語教育よりも前に就学前に行った方がいいことがあるのではないのでしょうか。

事務局（子育て支援課長）

- ・英語教育という書き方のため、誤解をまねているかもしれません。表現について検討したいと思います。内容としては、月に1回英語で遊びながら英語に触れあう機会を設け、園児が小学生になった時に抵抗が少なくなるような取り組み方で行うことを考えています。

【3. 子どもの健やかな成長を支援する】

- ・意見、質問なし

【4. 配慮が必要な子どもと家庭を支援する】

委員（質問）

- ・富士川町では、無料で学習会を開き、配慮が必要な子どもたちに教えるなどの地域の学習ボランティアの実態はありますか。

事務局（子育て支援課）

- ・今のところ、ありません。

委員（意見）

- ・無料学習会は、自治体から声をかけて発生するものなのか、それとも学生の方から自主的に活動をして行われるものなのか。どちらにしても、学習場所の提供など自治体の協力は必要不可欠であると思います。学習環境を提供することで救われる子どもがいると思うので、自治体として、ぜひ協力してほしいです。

委員（質問）

- ・退職をされた先生たちを中心に、そよ風教室を月に2回行われています。そよ風教室はどのような位置づけでしょうか。

事務局（教育長）

- ・計画の中などで、行政側として位置づけをしていくことにはなっていくのですが、子どもたちの目線から見た時に、そよ風教室は子どもたちが自由に勉強をすることができる場となっています。第2次富士川町子ども・子育て支援事業計画第4章基本目標4に位置付けることは今のところありませんが、このような場がいくつもあることはいいことだと考えています。

大学生の学習ボランティアの話がありましたが、富士川町においても、そよ風教室の中学部の方で大学生のボランティアを受け入れている実績があります。各

大学で、ボランティア活動として学習支援を行うことで単位を修得することができるなど、ボランティア活動を積極的に行うことができるシステムになっています。学生たちに富士川町が学習支援ボランティアの募集を行っていることを知っていただけるように、各大学に情報提供を行っています。甲府市周辺では、盛んに学習支援のボランティアが行われているようですが、地方ではまだ、盛んではないというのが現状です。

○第5章 子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

【1. 基本的な考え方】

- ・意見、質問なし

【2. 教育・保育の量の見込みと確保方策】

- ・意見、質問なし

○第6章 推進体制

【1. 教育体制】

- ・意見、質問なし

【2. 計画推進の役割】

- ・意見、質問なし

(2) その他

- ・計画の名称について

「子ども・子育て支援事業計画」→「富士川子ども子育てプラン」

- ・計画の冊子について

冊子の表紙や中表紙に児童センターで子どもたちが描いた絵の印刷

- ・計画に対するパブリックコメント募集について

以 上